

心通い合う医療をめざすコミュニケーション冊子

八幡中央病院／京都八幡病院／学研都市病院／百万遍クリニック／真鍋整形外科医院／介護老人保健施設石清水
介護老人保健施設とちのき／介護老人保健施設梨の里／八幡市乳幼児健康支援ディサービスたんぽぽ
精華町病児・病後児保育室ひまわり／特別養護老人ホームゆりのき

「節電の夏」には、日よけや打ち水など、昔からある工夫をいかし、水分補給にも気をつけてのりきりしましょう。



2012年
Vol.34

美濃山小学校のゴーヤカーテン (写真提供:八幡市役所)

介護老人保健施設 梨の里 開設



今後は、行政をはじめとする関係機関との連携をより密にして、ご利用者とご家族が安心できる地域に密着したサービスと施設づくりに努めてまいります。

このたび新たに、医療法人 社団 医聖会 介護老人保健施設 梨の里を開設いたしました。

去る平成24年3月10日(土)、梨の里に於いて、竣工式典及び設立披露の内覧会が開催されました。当日は、京都府をはじめ、国会議員、京都府議会議員、八幡市長、八幡市議会議員、医療福祉関係の皆様を多数お迎えし、竣工式典は滞りなく執り行われました。

内覧会では、施設内各フロアの療養室・談話室・最新の特別浴室設備など、最新の施設・設備を興味深く見学されました。



ダイケア

石清水／もくじ

● 介護老人保健施設 梨の里 開設

● 長引く咳を軽視しないで！

● スタッフボイス

● キズを小さく、痛みを軽く、入院期間を短く

● 医聖会トピックス

● サンデー毎日『整形外科の病気』特集に記事掲載

● 石清水トピックス

● 介護老人保健施設 石清水 5月誕生日会

● 良い睡眠がとれていますか？

● 介護老人保健施設 石清水・介護老人保健施設 梨の里
八幡市と「福祉避難所」協定締結

● 学研都市病院 中学生 職場体験

● 八幡中央病院 増改築工事のお知らせ

● 医師紹介

iwashimizu 2012 vol.34

石清水

いわしみず

2012
vol.34

iwashimizu / 2012年
2012年5月1日発行 配布
発行元／医療法人社団 医聖会
編集・印刷／(株)シーリング
〒614-8034 八幡市中区南本町1丁目9-14 美濃山町に115F
TEL 076-982-0398 FAX 076-982-0398

良い睡眠がとれていますか？

睡眠時無呼吸症候群(SAS)とは、眠っている間に気道が塞がり、睡眠中に無呼吸状態が繰り返される病気です。

本来は休息すべき時間である睡眠中に無呼吸状態が繰り返されるため、心臓や身体全体に大きな負担がかかります。眠っている間のことから、呼吸が止まっていたとしても気づかず、それが知らない間に身体に深刻なダメージを与えているのです。放置しておくと、高血圧症、糖尿病、脂質異常症を呼びこみ、動脈硬化が進行。不整脈、狭心症、心筋梗塞、脳卒中などの病気を引き起こします。SASの代表的な症状は、いびきをかく(ご自身で自覚がなくても、指摘されたことがある)、日中の強い眠気、朝起きた時に頭痛がある、いつも熟睡感がない、夜中に目が覚める、夜たびたびトイレに起きる等です。身に覚えがありますか？



簡易検査等で睡眠時無呼吸症候群の可能性が疑われる方は、1泊2日の入院で精密検査(終夜睡眠ポリグラフィ(PSG)検査)により確定的な診断を行い、検査結果によっては鼻マスクによるCPAP(シーパップ)療法を受けていただくことも可能です。

お心当たりの症状がある場合には、お早めの受診をお勧めします。受診については、まずは右記の各病院へお問い合わせください。

八幡中央病院 075-983-0119

京都八幡病院 075-971-2001

学研都市病院 0774-98-2123

介護老人保健施設石清水 介護老人保健施設梨の里

八幡市と「福祉避難所」協定締結

医聖会では、平成24年1月に介護老人保健施設石清水が、5月には介護老人保健施設梨の里が、災害時に介護などが必要な高齢者や障害者等のための「福祉避難所」の設置と運営に関する協定を八幡市と締結しました。

福祉避難所とは、災害時において高齢者や障害者等、学校施設等の一般の避難所では避難生活が困難で、特別な配慮(身体的ケアやコミュニケーション支援等)を必要とする方々を対象に開設される避難所で、一般の指定避難所とは違い、災害発生後に必要性が認められた場合に開設されるものです。

今後はこの協定をもとにして受け入れ態勢を整備し、災害に強い施設づくりに邁進してまいります。



八幡市写真提供

学研都市病院 中学生 職場体験

学研都市病院では毎年、精華町内の中学生の職場体験を受け入れています。3日間で4名の生徒さんに病院の専門職の体験をしてもらっています。生徒さんには是非将来に役立ててもらいたいという思いと、職員においては指導プランの立案や説明などを通して、人にもものを教えることのむずかしさを知ってもらい、いっしょに頑張りたいと思います。これからも将来の職業を考える機会となるような、リアリティーのある充実したプランを計画したいと思います。



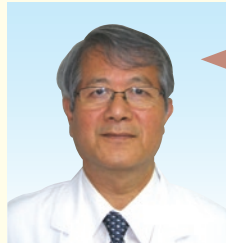
八幡中央病院 増改築工事のお知らせ

現在、八幡中央病院では平成25年11月完成を目処に、増築工事並びに既存建物の改築工事を行っております。この度の増改築により、療養環境の向上に万全を期し、より良い医療を提供するという、地域における当院の役割を果たしていきたいと考えています。

患者さまをはじめ皆さまに大変ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。



医師紹介



心臓病、高血圧の治療を皆様が納得して受けて頂けるように心がけます。心不全の急性期は入院で、慢性期は在宅で再入院の予防に努めます。体重管理が大事で、訪問診療、マスク式人工呼吸器なども役立ちます。

医療法人 社団 医聖会 顧問 上床 博久

八幡中央病院 循環器科
八幡中央病院外来：火・水・木曜日、百万遍クリニック外来：月曜日
※くわしくは別紙の担当医表をご確認ください。

● 経歴

昭和46年 9月 京都大学医学部卒業
昭和46年 12月 京都市立病院内科研修医
昭和51年 12月 京都市立病院内科医員(循環器科)
昭和55年 11月 京都市立病院内科CCU部長
平成 2年 4月 京都市立病院内科CCU部長
平成 11年 4月 京都市立病院診療科統括部長、循環器科CCU部長事務取扱
平成 17年 4月 京都市立病院副院長
平成 20年 4月 京都市立北病院院長
平成 22年 4月 八幡中央病院・百万遍クリニック勤務

● 資格

日本循環器学会認定循環器専門医
日本内科学会総合内科専門医
日本医師会認定産業医



医療法人 社団 医聖会

医聖会ホームページ：www.iseikai.jp



八幡中央病院

〒614-8071 京都府八幡市八幡五反田39-1
TEL 075-983-0119(代) FAX 075-983-0310

百万遍クリニック

〒606-8225 京都府京都市左京区田中門前町103-5
京都バストゥール研究所ビル1F
TEL 075-791-8202 FAX 075-705-0025

介護老人保健施設 とちのき

〒619-0238 京都府相楽郡精華町精華台7丁目4-1
TEL 0774-98-2600 FAX 0774-98-2601

真鍋整形外科医院

〒614-8036 京都府八幡市八幡木内25-1
TEL 075-982-0125 FAX 075-982-0208

学研都市病院

〒619-0238 京都府相楽郡精華町精華台7丁目4-1
TEL 0774-93-1226 FAX 0774-93-1226

特別養護老人ホーム ひまわり

〒619-0225 京都府木津川市木津川台1丁目19番1
TEL 0774-75-1132 FAX 0774-75-1134

社会福祉法人 京都山城福祉会

〒614-8036 京都府八幡市八幡木内25-1
TEL 075-982-0125 FAX 075-982-0208

特別養護老人ホーム ゆりのき

〒619-0225 京都府木津川市木津川台1丁目19番1
TEL 0774-75-1132 FAX 0774-75-1134

京都八幡病院

人工透析センター、健診センター
〒614-8114 京都府八幡市川口別所61
TEL 075-971-2001(代) FAX 075-983-0185

真鍋整形外科医院

〒614-8036 京都府八幡市八幡木内25-1
TEL 075-982-0125 FAX 075-982-0208

介護老人保健施設 梨の里

〒614-8111 京都府八幡市川口小西9-7小西案内
TEL 075-981-7006 FAX 075-981-7006

学研都市病院

人工透析センター、健診センター、
〒619-0238 京都府相楽郡精華町精華台7丁目4-1
TEL 0774-98-2123(代) FAX 0774-98-2101

介護老人保健施設 石清水

〒614-8114 京都府八幡市川口別所66
TEL 075-971-2001(代) FAX 075-971-2003

介護老人保健施設 とちのき

〒614-8111 京都府八幡市川口小西9-7小西案内
TEL 075-981-7006 FAX 075-981-7006

介護老人保健施設 梨の里

〒614-8111 京都府八幡市川口小西9-7小西案内
TEL 075-981-7006 FAX 075-981-7006

介護老人保健施設 石清水

〒614-8114 京都府八幡市川口別所66
TEL 075-971-2001(代) FAX 075-971-2003

介護老人保健施設 とちのき

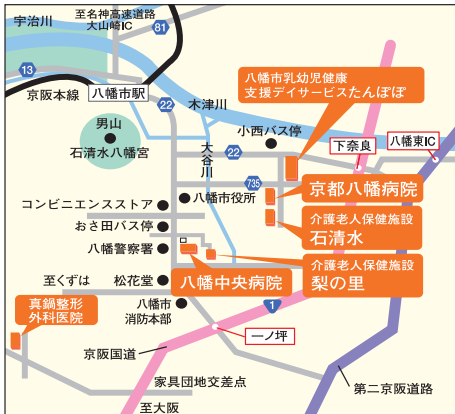
〒614-8111 京都府八幡市川口小西9-7小西案内
TEL 075-981-7006 FAX 075-981-7006

介護老人保健施設 梨の里

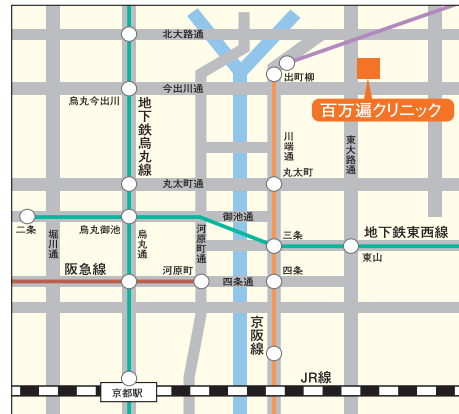
〒614-8111 京都府八幡市川口小西9-7小西案内
TEL 075-981-7006 FAX 075-981-7006

介護老人保健施設 石清水

〒614-8114 京都府八幡市川口別所66
TEL 075-971-2001(代) FAX 075-971-2003



各施設とも大山崎IC、八幡東ICより約10分



長引く咳を軽視しないで！

今年1月、学研都市病院に着任した倉澤卓也医師は、国立病院機構南京都病院に20年近く勤務し、結核治療の最前線に立ち続けるエキスパートです。当院呼吸器科では、肺がんや咳喘息、非結核性の抗酸菌症、気管支や肺の感染症など、あらゆる呼吸器疾患の診断治療に取り組んでいます。

呼吸器科では、どのような病気が多くみられますか？

着任して半年になりますが、高齢者の誤嚥性肺炎（口腔内の雑菌が気管から肺に入って起きる肺炎）と、近年注目を集めている咳喘息（症状は咳だけだが普通の咳止め剤は効かず、喘息の治療が効く）が目につきますね。今年はインフルエンザも流行しました。一般的に呼吸器科で扱うのは、声帯から下の下気道、気管支、肺、横隔膜、胸膜（肺を包む膜）、縦隔（じゅうかく）左右の肺にはさまれる場所）などに発生する病変です。かつて国民病とまでいわれた肺結核は減っていますが、1985年以降、非結核性の抗酸菌症（MAC症）が目立つて増えています。これは中高年の女性に多いのが特徴で、結核に似ていますがまったくの別物。咳や痰が長引き苦しみますが、治療法は確立していません。肺がんや、喫煙などで起きる慢性閉塞性肺疾患も増加しています。多くの方は咳や痰を訴えて来院されますが、呼吸器疾患は、がんやアレルギー、感染症などが合併していることが多く、幅広い観点から診断をつけなければなりません。

「つらに咳」といいますが、このへらに続いたら病気が疑われますか？

咳が続く期間により、急性咳嗽（きゅうせいがいそう）／3週間未満、遷延性咳嗽（せんえんせいがいそう）／3～8週間、慢性咳嗽（8週間以上）と区別がされています。咳を誘発する原因としては、肺炎、肺結核、急性気管支炎、インフルエンザウイルス感染、咳喘息、逆流性食道炎、高血圧の薬のACE阻害薬、アトピー性咳嗽などが挙げられます。急性咳嗽の原因の多くは風邪や肺炎などの感染症ですが、遷延性、慢性と咳の期間が長くなると、感染性疾患の頻度は低くなり、アレルギーやがんなど非感染性疾患の頻度が高くなります。肺がんには、扁平上皮がん、腺がん、小細胞がん、大

細胞がんの4つのタイプがあり、小細胞がんがもっとも悪性度が高く危険です。また、女性の腺がんが急速に増えているのも要注意。高齢者の結核は症状が出にくいので、動きたがらないとか動作が緩慢とか、そのあたりに注目してください。まず、喫煙、間接喫煙を避けることが重要です。

結核のエキスパートとしてのお考えをお聞かせください

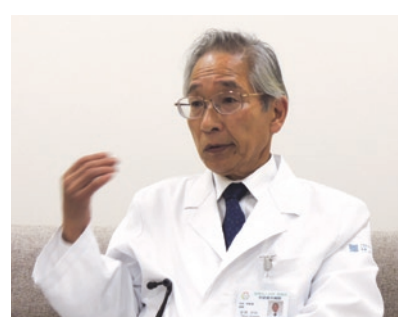
結核は化学療法的发展で激減しましたが、まだ過去の病気とは言えません。1989年、国が結核流行の警告を出し、予防キャンペーンがおこなわれ、それ以降経年的に見ると減ってきています。しかし、問題は高齢者の患者が多くなっています。高齢者の場合、咳痰、微熱という結核の特徴的な症状があまり出ず、気づいたときには重症化していることが多いのです。また外国人の感染者が多くなったことも近年の特徴です。中でも東南アジアなどからの留学生や研修生の感染が増えています。実は、地球全体で見ると全人口63億人中、結核感染者は21億人。3人に1人の感染率で、感染者の10人に1人が発病。年間の発病者は850万人です。治療法は4種類の薬を組み合わせて使う方法が世界標準となっていますが、感染率の高い発展途上国では十分な検査や治療がおこなわれていません。予防は不可能ですからいかに早く発見するかがカギ。咳といえば、風邪と思ひ込まないで、結核を疑ってみることも大切です。

呼吸器内科に進んだきっかけは？

医学生の頃、内科医が精神科医を志していたのが、学生運動で卒業が半年遅れてしまい、偶然、京都大学結核胸部疾患研究所付属病院に採用されたことから、呼吸器内科の臨床ひとすじにやってきました。呼吸器疾患の診断は、免疫とかアレルギー、感染症とか、あ



らゆる知識が必要で難しく、だからこそやりがいがあります。今後は経験を生かして、この地域の皆さんに貢献していきたいと思っています。呼吸器疾患は、とにかく早期発見・早期治療。自治体や会社でおこなわれている特定健診は必ず受けていただきたいですね。気になる症状があるときは、早めにご相談ください。



学研都市病院 顧問・呼吸器科 倉澤 卓也 医師

経歴	
昭和47年 9月	京都大学医学部卒業
昭和47年 12月	京都大学結核胸部疾患研究所付属病院医員（研修医）
昭和49年 12月	（財）天理よろづ相談所病院呼吸器内科医員
昭和53年 6月	京都大学結核胸部疾患研究所内科第一部門助手
昭和60年 3月	同上講師
昭和63年 4月	京都大学胸部疾患研究所感染・炎症学分野講師
昭和64年 1月	同上腫瘍学分野助教授
平成 4年 6月	国立療養所南京都病院副院長
平成10年 4月	同上院長
平成16年 4月	国立病院機構南京都病院院長
平成24年 1月	学研都市病院顧問
資格	
京都大学医学博士、日本内科学会認定医	
日本呼吸器学会専門医・指導医、日本感染症学会専門医・指導医	
日本アレルギー学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医	
日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医・指導医	
〈外来担当日〉	
月・火・水・金曜日	

腹腔鏡下手術とは、どのような手術ですか？

腹腔鏡とは、おなかの中を見る「カメラ」。腹腔鏡手術は、まず、腹部に0.5～2cmの孔（あな）を3～4か所あけ、腹の中に炭酸ガスを注入してふくらませ、内臓と腹壁の間に隙間を作ります。孔から腹腔鏡や電気メス、鉗子（かんし）などを入れ、腹腔鏡による映像をモニターで見ながら手術を行います。最終的には切除した胃や腸をおなかから取り出すために数センチのキズができますが、それでも従来の開腹手術と比較すると、キズが格段に小さく目立ちません。腹腔鏡下手術は20年ほど前から胆のう摘出術で行われるようになり、いまでは標準術式となっています。婦人科や泌尿器科の領域でも広く行われており、10年ほど前からは大腸がんや胃がんなどでも行われるようになってきました。がんの治療成績も開腹手術と変わりないといわれています。「手術のキズを小さく」という方向性は進み、孔を1箇所にする単孔式手術、という術式も出てきています。虫垂炎や、十二指腸潰瘍穿孔、気胸といった疾患もカメラを使った治療が可能です。

腹腔鏡下手術のメリットは？

まず、手術によるキズが小さいこと。例えば胆のう摘出術では、開腹手術の場合、10～15センチの大きな傷ができますが、腹腔鏡下手術では2～3か所の小さな痕だけ。へそのところだけのキズで行うこともできます。ほとんどわかりません。キズが小さいと出血も少なく、また内臓が直接外気にさらされることもないので、手術後の腸の回復も早く、食事も早くから始められ、体力回復も早くなります。キズが小さい分痛みも軽く、翌日には廊下を歩けます。胃や腸を切ると、開腹手術では3～4週間の入院ですが、腹腔鏡では1週間から10日ほどで退院できます。社会復帰も早いので、仕事をしている方や、小さな子どもがいる人にもびったり、体にも家計にもやさしい手術と言えます。

お年寄りの場合も、大きな手術をすると術

キズを小さく、痛みを軽く、入院期間を短く

近年、腹腔鏡下手術の進歩は目覚ましく、以前から行われてきた胆のう摘出術だけでなく、胃がんや大腸がんの手術も腹腔鏡で行われるようになってきています。今年4月、八幡中央病院に赴任した谷岡保彦医師は、腹腔鏡下手術の経験が豊富で大腸がんを200例以上執刀し、胆のう摘出術は500例以上にたずさわっています。「痛みの軽い、患者さまに優しい手術を！」と意欲的に語ります。

欠点や問題点はありますか？

直接おなかの中を見てさわって行う手術ではなく、カメラの映像を見ながら手術操作を狭い場所で行う手術ですので、医師の技量、経験によって手術の質に差が出る点は否めません。私はこれまでに多くの腹腔鏡手術を経験していますので、安心して手術を受けていただけます。以前に大きな手術を受けていたりして内臓の癒着のある方は、腹腔鏡手術ができない場合がありますが、それでも腹腔鏡で行えることがあります。大腸がんを腹腔鏡で手術し、数年後に胃がんを同じように腹腔鏡で手術した方もあります。あきらめずに相談してください。おなかの中の様子によっては途中で開腹手術に変更する場合もあります。

消化器外科について最近のニュースは？

私は消化器がんが専門ですが、とりわけ大腸がんに関して、この10年余りで治療方法が劇的に進歩した、と感じます。初期の大腸がんは内視鏡で削り取れますし、腹腔鏡下手術もスタンダードになりました。新しい抗がん剤も出てきて、たとえ再発しても、数種類を組み合わせて、普通に仕事をしながら、通院で治療を続け、長生きをされている方がたくさんおられます。副作用を減らし効果を高められるようになってきているのです。

もし、再発や転移が見つかった場合、あきらめることはありません。再手術が可能な場合もありますし、抗がん剤で長期生存される方もいらっしゃいますから、このようにQOL（生活の質）を高めた形で生存率が上がっているのは喜ばしいことです。

最後に地元の方々へのメッセージを

「がん」は、早期発見・早期治療に尽きますの



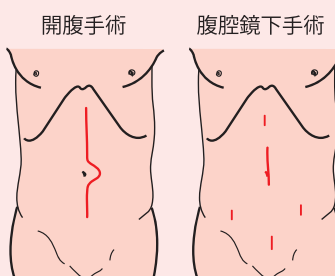
八幡中央病院 消化器外科部長 谷岡 保彦 医師

経歴	
昭和61年 3月	京都府立医科大学卒業
昭和62年 5月	京都府立医科大学付属病院
平成 1年 4月	健康保険鞍馬口病院
平成 3年 4月	京都府立医科大学付属病院
平成 7年 7月	社会保険京都病院
平成22年 4月	大島病院
平成24年 4月	八幡中央病院

資格	
日本外科学会専門医	
日本消化器外科学会認定医	

〈外来担当日〉
月・水・金曜日

開腹手術と腹腔鏡下手術の手術によるキズの比較。



腹腔鏡下手術のほうが格段に小さい。
（イメージ図）
※孔（あな）は各0.5～2cm程度

で、必ず検診を受けてください。最近では苦痛の少ない検査が増えていますから怖がらないで大丈夫。大腸がんでは、便検査と内視鏡検査で正確に診断できます。私が医者になったのは、祖母が検査を嫌って乳がんが進行してしまい、手遅れになってしまったのを見て、がんに悩む人を助けたい、と思ったからです。八幡中央病院は、整形外科の病院というイメージで見られていますが、消化器外科も、消化器内科も経験豊富な医師が頑張っています。一緒に、がんと闘いましょう！

① 医聖会トピックス

サンデー毎日『整形外科の病気』特集に記事掲載

サンデー毎日創刊90周年記念企画として、医療最前線「整形外科の病気」特集が組まれ、医聖会理事長 真鍋克次郎医師と学研都市病院院長 四方實彦医師のインタビュー記事が掲載されました。医聖会は、これからも心の通い合う医療・介護・福祉を通じて、地域社会に貢献します。



サンデー毎日 6月17日号
（6月5日発売）
患者に負担の少ない短時間の
脊椎・脊髄手術で
「痛みのない」「歩ける」高齢
社会の実現を目指す

石清水 トピックス

介護老人保健施設 石清水 5月誕生日会

5月17日に「5月の誕生日会」を開催しました。歌・キーボード・ピアノ演奏の「アマービレ」の皆様方に来所していただきました。昨年の5月から約1年ぶりの2度目の来所です。まずは「あわて床屋」から始まりです。軽快なリズムと「チョッキン、チョッキン、チョッキンあ〜」という歌詞に合わせて、手をチョキにして左右に動きます。「浜千鳥」「明日があるさ」など懐かしの名曲が次々にキーボードとピアノの美しい演奏と艶のある歌声で披露され、聴き入るご利用者様と一緒に口ずさんでられるご利用者様の姿が見られました。「東京ラブシティ」のノリのいいメロディーが流れてきました。「楽し、都（みやこ）。…」の歌詞が、「楽し、石清水!花の八幡!」に早変わり、ご利用者様も一緒に大合唱しました。もうお別れの時間がやってきたと思いきや、「アンコール」の呼び声で、最後にもう1曲、お馴染みの曲「高原列車」が披露され、大いに盛り上がりしました。アマービレの皆様、楽しいひと時をありがとうございました。



Staff voice 医聖会で働くスタッフの声を届けます。

voice. 1 懇切丁寧な対応で、患者さまに満足していただけるよう日々頑張ります。



八幡中央病院 医事課（受付） 西村 佳子

平成11年に入職して以来13年間、八幡中央病院医事課（受付）で勤務しています。初めて来院された患者さまが一番に声を掛けられるのが受付ですので、患者さまに不安を抱かせないよう、懇切丁寧な対応を心がけています。この仕事をしていると、病院外で患者さまに出会った時に声を掛けていただいたり、また、何年か振りに来院された患者さまが覚えていて下さることもありますので、非常に嬉しく思うと同時に、病院の受付という場所で働くことにやりがいも感じます。これからの目標ですが、昨日より今日、今日より明日と、少しでも前より成長したといえるような毎日を送ること。受付のメンバー全員でそんな毎日を送ることが出来るよう、月に1度は皆で食事に行き、コミュニケーションを取っています。今後も八幡中央病院の窓口として、患者さまに満足していただけるような接遇を心がけ、日々頑張りたいと思います。

voice. 2 常に安全・安楽を第一に、どんな手術でもすぐに対応できるよう頑張ります。



学研都市病院 手術室 看護師 水野 優佳

平成19年4月に新卒で入職し、手術室での勤務は6年目になります。当院の手術は大半が全身麻酔ですので、意識のない患者さまと関わる事が多い毎日です。「手術室看護は特殊だ」とよく言われますが、患者さまがどんな状態であっても常に安全・安楽を第一に考えた看護を提供することは、どの部署でも変わりません。新人の頃に目にした「手術室看護師にとって、手術以外で患者の体が傷つく事は恥である」という言葉を忘れずに日々取り組んでいます。これまで一番印象に残っているのは、麻痺が進行し、下肢が動かなくなった患者さまの緊急手術。手術終了後、こちらの呼びかけに対し患者さまの足がバタバタと動き出し、患者さまはベッドに寝たまま「わあ、動いた!」と拍手。私たちも嬉しくて一緒に拍手。夜遅くからの手術でしたが、疲れが一気に吹き飛ばす瞬間でした。今後は、自分を含めた手術室スタッフが、上司のようにどんな手術でもすぐに対応できるようになること。そのためにも自己学習と後輩の育成を頑張りたいと思います。